



茨城県アンサンブルコンテスト に出場が決定しました！

2024年11月8日に小美玉市立生涯学習センターコスモスにて、茨城県アンサンブルコンテスト中央地区大会が行われ、フルート三重奏・クラリネット三重奏・木管三重奏の3チームが出場しました。このうちフルート三重奏とクラリネット三重奏が地区代表に選ばれ、2024年12月20日に牛久市中央生涯学習センターで行われた茨城県アンサンブルコンテストに出場が決定しました。

今回のアンサンブルコンテストでは、各校から出場できる最大チーム数である3チーム、水戸二高からも出場しました。同好会発足以来、3チーム出場したのは恐らく初めてのことでした。この3チームを決めるために、今回校内オーディションを実施しています。円満に編成を組むことも可能でしたが、よりバンド全体の力を向上させようと、切磋琢磨できるような環境にあえて挑みました。今回出場した3チームは、水戸二高アンサンブル同好会で活動するメンバーの思いや期待とともに、地区大会で精一杯演奏できました。県大会に向けて、地道に練習を重ねていきたいと思っています。応援よろしくをお願いします！

バンドへの還元を目指して

今回惜しくも大会出場こそ叶いませんでしたが金管チームの力はこれまでに比べ、確実に成長が見られます。また、オーディション後、大会出場メンバーがいない中での合奏でも、中心となりバンドをリードしてくれています。特に中低音域が少ない現在の編成において、金管楽器はサウンド厚くする上でその鍵を握っています。打楽器とともに、研鑽を積んでいきたいところです。

今年、夏のコンクールを経験し、水戸二高としてどのような音楽を追求していいのか、私たち自身が期待をもって練習に向かっています。アンサンブルコンテストも決してその「成績」だけを追いかけるのではなく、自分たちが表現したい音楽の追求、そしてその先にあるバンドとしての成熟を目標にこれからも取り組んでいきたいと思っています。

編集後記

茨城県大会は12月20日（金）牛久市中央生涯学習センターで行われます。水戸二高の応援をよろしくお願いいたします！

地区大会での健闘

フルートチームが歌心をもった表現で聴かせたいと取り組んできた石毛里佳作曲の「碧い月の神話」ですが、本番での伸びやかな演奏の陰には、非常に繊細且つ緻密な練習がありました。演奏をブラッシュアップするため、多くの人に意見を乞うその謙虚な姿勢も印象的でした。クラリネットチームが今回選曲したのは石毛里佳作曲の「ウェントス」。ラテン語で“風”を意味するタイトルの通り、緩急あるリズムと流れるような旋律が特徴的で技術を要する曲でした。しかし、テクニカルな部分に走るのではなく、どのように曲を表現するか早い段階から明確な意志をもって練習していたクラリネットチーム。校内オーディションの時点から、自分たちの目指す音楽が見えるような演奏をしていました。

惜しくも優良賞となった木管三重奏のチームですが、オーボエ2本とアルトサックスという、一般的にはあまり見られない編成での挑戦でした。曲もバッハ作曲の「2本のオーボエとイングリッシュホルンのための三重奏曲ハ長調Op.87」という古典的な作品に取り組みましたが、現代曲に比べると、世界観をイメージするのに苦労した部分もあったはずですが、オーボエとサックスという音量バランスをとるのが難しい編成であるなど様々な困難がありました。最後まで果敢に挑戦し、本番前も緊張を上手くコントロールし、落ち着いて舞台に臨むことで、これまでの成果を発揮できたのではないかと思います。